

モルタル面及びプラスター面

7章7節: アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) ビルデック (標準仕様)

使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JIS K 5670 アクリル樹脂系非水分散形塗料	ビルデック	F☆☆☆☆	塗料用シンナー

塗装仕様

表7.2.4 モルタル面及びプラスター面の下地調整【RB種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	—	—	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化しせい弱な部分を除去する。
2 汚れ、付着物除去	—	—	—	素地を傷付けないようにワイヤーブラシ等により除去する。
3 ひび割れ部の補修	—	—	—	特記による。
4 吸込止め	JIS K 5663	合成樹脂エマルションシーラー	—	全面に塗り付ける。
5 穴埋め、 バテかい	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	ひび割れ、穴等を埋めて、不陸を調整する。
	JIS K 5669	合成樹脂エマルションバテ	耐水形	
6 研磨紙すり	研磨紙P120~220			バテ乾燥後、表面を平らに研磨する。

- (注) 1.アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りの場合は、工程4の吸込止めは、塗料製造所の指定するものとする。
 2.仕上材が仕上塗材の場合は、バテ及び工程4の吸込止めは、仕上塗材製造所の指定するものとする。
 3.仕上材が壁紙の場合は、バテ及び工程4の吸込止めは、壁紙専用のものとする。
 4.合成樹脂エマルションバテは、外部に用いない。
 5.新規に塗装又は壁紙張りを行う場合は、RA種又はRB種とし、工程1に代えて素地を十分に乾燥させ、工程3を省略する。
 6.塗替え等の場合は、工程4を省略する。

表7.7.1 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り【A種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20°C)
1 下塗り	ビルデック	各色	—	5~15	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				20~30	スプレー		
2 研磨紙すり	研磨紙P220~240						清掃後
3 中塗り	ビルデック	各色	—	5~15	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				20~30	スプレー		
4 上塗り	ビルデック	各色	—	5~15	刷毛 ローラー	0.10	—
				20~30	スプレー		

- (注) 1.下地調整の種別は、塗料その他の欄による。
 2.モルタル面の下地調整は、表7.2.4によるRB種とする。
 3.コンクリート面の下地調整は、表7.2.5によるRB種とする。
 4.押出成形セメント板面の下地調整は、表7.2.6によるRB種とする。

7.2.5 モルタル面及びプラスター面の下地調整

モルタル面及びプラスター面の下地調整は表7.2.4により、種別は特記による。
 特記がなければ、RB種とする。

7.7.2 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りは表7.7.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

注意事項

- * 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。
 そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
- * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。